様式第三号

沿岸くろまぐろ漁業操業変更届出書

年　　月　　日

瀬戸内海広域漁業調整委員会会長　殿

届出者住所
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）　　印

年　　月　　日付けで届け出た沿岸くろまぐろ漁業操業届出書の記載事項に下記のとおり変更が生じたので、（関係書類を添えて）届出します。

記

1　変更しようとする事項

変更事項	変更前	変更後

2　漁船原簿の登録確認
漁船登録原簿の内容と相違がないことを証明します。
都道府県確認印

備考：用紙は、日本工業規格Ａ４とすること。

様式第四号

瀬戸内海広域漁業調整委員会会長　殿

年　　月　　日

沿岸くろまぐろ漁業漁獲実績報告書

漁業者の氏名又は名称	印
住所	
届出日	
使用船舶名	
漁船登録番号	
船舶総トン数	
漁業の方法	曳き縄・はえ縄・釣り・その他（　　）

年	月	水揚げ市場（又は漁協）＊1	漁業の方法	操業海域＊2	漁獲量				
					鮮魚			養殖用種苗	
					4kg未満＊3	4kg以上＊3			
					総重量（kg）	総重量（kg）	水揚状態＊4	尾数	1尾当たりの平均魚体重（kg）＊5

（注）
＊1：「養殖用種苗」にあっては、漁獲後、最初に活け入れ、又は蓄養した漁場を管轄している漁協名を記入する。
＊2：操業海域は、S（瀬戸内海）と記入すること。
＊3：4kg上・下を仕分ける銘柄区分がない場合には、目視、経験則等による記入でよい。
＊4：ラウンド（魚全体のまま）は「1」、セミドレス（えら、内蔵除去）は「2」、セミドレスから尾鰭を除いたものは「3」、その他は「4」を記入する。
＊5：「1尾当たりの平均魚体重」については、目視、経験則又は数尾の直接計測等による記入でよい。
〔備考〕
用紙は、日本工業規格A4とする。